

経営比較分析表（令和5年度決算）

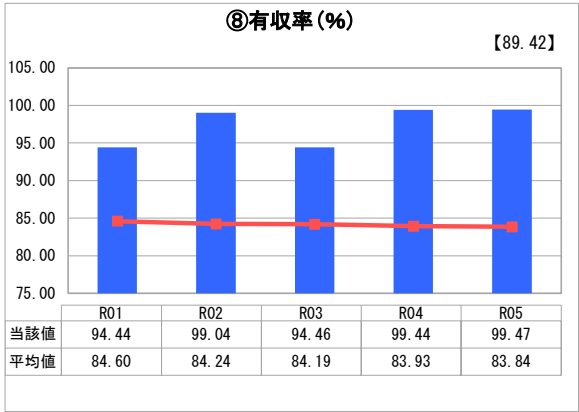
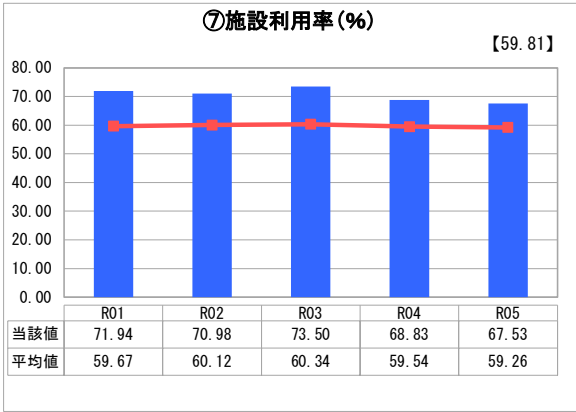
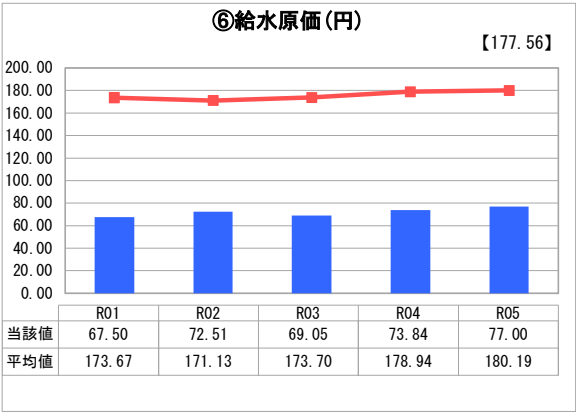
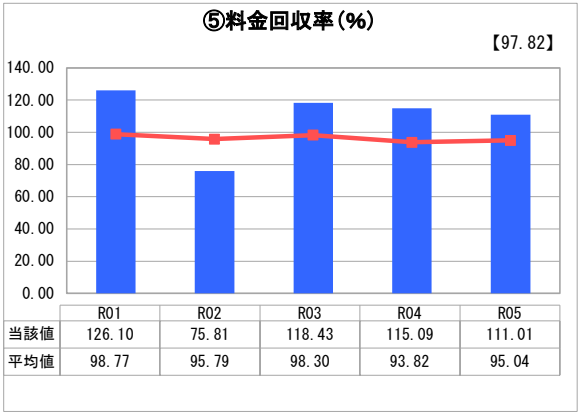
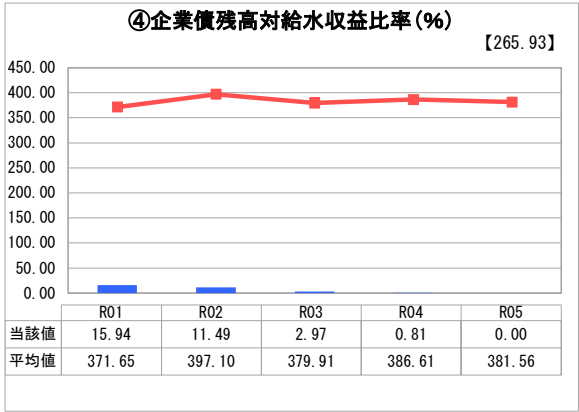
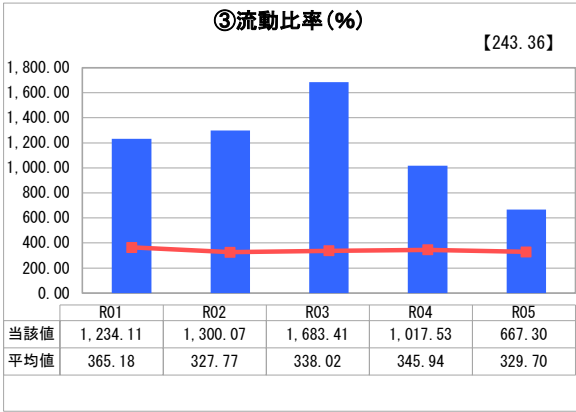
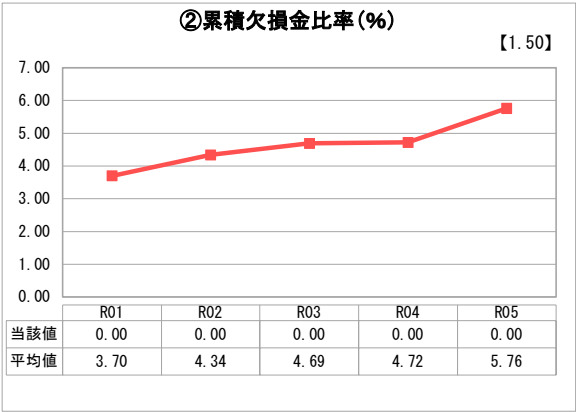
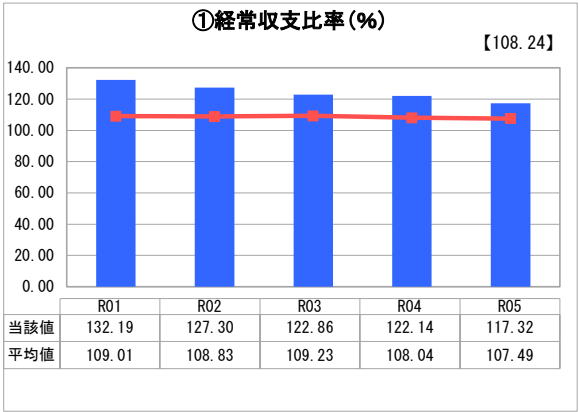
静岡県 長泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	96.35	96.50	1,150	

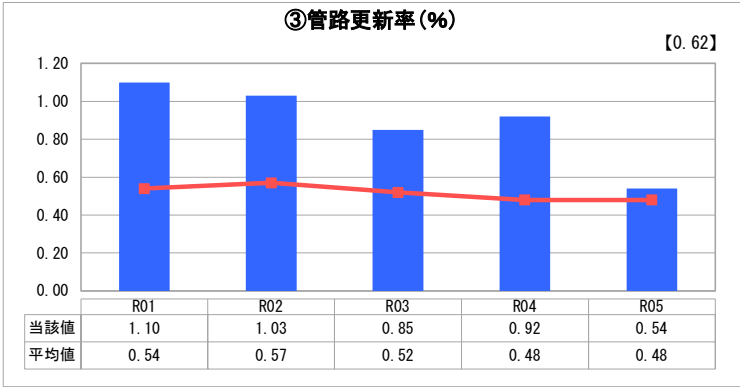
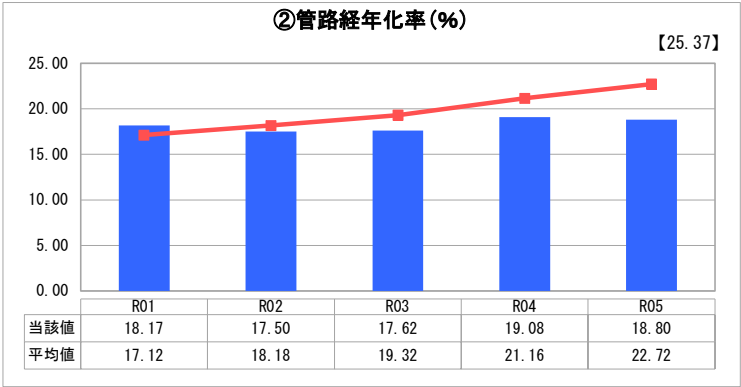
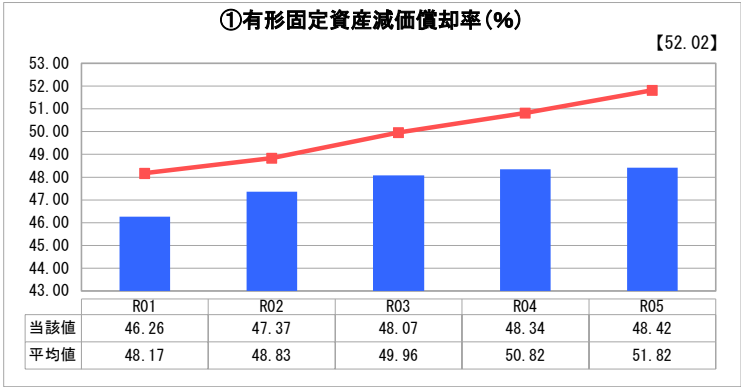
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
43,528	20.73	2,099.76
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
41,989	11.18	3,755.72

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、対象期間を通して100%を上回る黒字の状態となっています。黒字を維持しながらも引き続き業務委託を拡大し、民間による効率的な業務遂行を進めてまいります。

②累積欠損金比率は、欠損金がなく、対象期間を通して発生していません。

③流動比率は、現金預金の増加により、年々上昇していましたが、R5年度は、施設更新等の設備投資の増加により、現金預金が減少しました。しかし、平均値を上回っており、短期的な債務に対する支払能力は十分にあります。

④企業債残高対給水収益比率は、現在新たな借入れを行っていないことから減少しており、今年度をもって企業債残高は0円となりました。

⑤、⑥料金回収率が100%であれば、給水に係る1立方メートルあたり費用（給水原価）が水道料金による1立方メートルあたり収入（供給単価）で賄われていることを意味しており、100%を十分に超えた状態で推移していることから、適正な状態を保っております。

⑦施設利用率は、大きな変動はなく、問題ありません。

⑧有収率は100%に近い状態を保っており、施設の稼働が効率的に収益に反映されております。

2. 老朽化の状況について

配水管の布設替えは、下水道工事や県・町の道路事業等の進捗に併せて効率的に進めています。

①有形固定資産減価償却率については、100%に近いほど保有固定資産が法定耐用年数に近づいていることを示します。徐々に増加していますが、平均値以下となっており、今後も水道施設及び管路の更新等により平均値以内に留まると見込まれます。

②管路経年化率は、平均値と比較し、乖離が**見られます**。上昇傾向の平均値に対し、当事業は本年度減少となったため今後も計画的な管路更新を実施していきます。

③管路更新率については、減少傾向にあるものの、平均値より高い更新率であり、今後も計画的に管路更新に投資していく予定です。

全体総括

本年度の給水人口は増加となりましたが、更に水道使用者の意識の変化、節水型家電への移行等から、水需要の伸びは期待できない状況となっています。また、宅地分譲や共同住宅建設に伴う工事負担金も減少の傾向が見られました。

キャッシュ・フローに問題はありますが、経年管・取水設備等の更新に係る経費が見込まれるなか、厳しい状況が想定されます。水道ビジョン及び経営戦略に基づき、引き続き計画的な事業を進めていきます。